

親鴨会会長メッセージ 2020年1月1日

親鴨会会長 内池 正名

明けましておめでとうございます。令和二年を穏やかに迎えられたこととお喜び申し上げます。

「さあ、今年は!」と腕まくりするような単年度の目標ではなくても、自分なりの目標を持って日々を楽しむ重要性を感じます。かく言う私は、旧甲州街道の駒飼宿(甲斐大和)から下諏訪宿までの100kmを歩くことを目標にします。これで2008年から始めた街道歩きも、足掛け13年で旧五街道を一人旅で歩き切ることとなります。その後の目標を考えなければいけません。

さて、親鴨会の昨年は会員間の親睦を目指すイベントに加えて、会員のボランティアや社会貢献活動の体験やあり方を議論するセミナーを天城ホームステッドで開催するなど、活動の巾を広げてきました。また、こうしたセミナーの結果をホームページから発信し、会員の一人一人がどのような経験を持っているのかを知る事で、ボランティア活動に興味は有るが、始める決断には至らないという方には大きなヒントや指針になるはずです。

こうした情報の共有の手段を広げる一つとして、昨年から開始した「親鴨会 Facebook」の活用を進めるとともに、色々な組織単位で構成されているOB/OG会とのインターフェイスも果たしていきたいと思えます。

働き方の変化とともに、会員の皆さんの親鴨会に対する期待も多様化しています。それだけに、様々な会員の皆さんの意見・希望をお聞きしながら、世代横断的な運営を保ちつつ、

「不変の価値」と「変化への対応」のバランスをとっていく必要性を痛感しています。

そうこう考えていると、いそがしい一年になりそうです。